

IAPH2025 Sustainability Awards の ファイナリストに日本で初めて横浜港が選出されました

横浜市が IAPH（国際港湾協会：International Association of Ports and Harbors）が開催する IAPH2025 Sustainability Awards に提出していたプロジェクト『Port Decarbonization Plan; 121 public and private partnerships projects』が、この度、Climate and Energy 部門のファイナリストに日本で初めて選出されましたので、お知らせいたします。

審査員評価と今後行われる一般投票によって、本年 10 月 7 日～9 日に開催される世界港湾会議（神戸）にて、ファイナリストに選出されたプロジェクトから最優秀賞（Winner）が決定されます。

1 横浜市の提出プロジェクト※



<https://sustainableworldports.org/project/port-of-yokohama-port-decarbonization-plan/>

本年 3 月に策定した『横浜港港湾脱炭素化推進計画』を題材にして、横浜港におけるカーボンニュートラルポートの形成に向けて官民連携を強めて進めていくことを紹介しています。

※Award には英語で提出するため日本語の内容についてはこちらをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/torikumi/cnp/top.html>

2 IAPH2025 Sustainability Awards について

IAPH が 2019 年から開催しており、毎年世界中の港湾から脱炭素など 6 カテゴリーでプロジェクトを募集し、世界各地の港湾の知見を集約するとともに、優れた案件を選出しています。

各カテゴリーから 3 件、計 18 件がファイナリストとして選出され、最終的に毎年の世界港湾会議にて最優秀賞（Winner）が発表されます。

<https://sustainableworldports.org/iaph2025-sustainability-awards/>



<https://sustainableworldports.org/>



<https://www.iaphworldports.org/>

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 カテゴリーとファイナリストについて

2025 年は全世界から 112 件のプロジェクトがエントリーされました。

なお、北九州港の取組も Infrastructure 部門でファイナリストに選出されています。

Climate and Energy（気候変動とエネルギー）	
横浜港	Port Decarbonization Plan; 121 public and private partnerships projects
ロッテルダム港（オランダ）	Porthos CO2 transport & storage
ビーゴ港（スペイン）	Hydrogen Strategy: A Living Lab for the Energy Transition
Infrastructure（インフラストラクチャー）	
北九州港	Green Energy Port HIBIKI
仁川港（韓国）	Smart Maintenance Technology for Port Infrastructure
シアトル港（米国）	Marine Stormwater Utility
Digitalization（デジタル化）	
アントワープ・ブルージュ港（ベルギー）	APICA Digital Twin
ロングビーチ港（米国）	Supply Chain Information Highway
P S A シンガポール	OptETruck
Community Building（コミュニティビルディング）	
バルセロナ港（スペイン）	Positive Impact Port
ガーナ港（ガーナ）	CSR Beyond Port Boundaries
蔚山港（韓国）	Vulnerable Groups' Access to Port and Maritime Information
Environmental Care（環境保護）	
ケニア港（ケニア）	Mangrove Restoration Program
欧州 40 港による連携	Environmental Port Index (EPI)
ビーゴ港（スペイン）	NaturPorts Programme
Health Safety and Security（健康、安全およびセキュリティ）	
釜山港（韓国）	Unified Strategy: Safety, Health & Resilience
コトヌー港（ベナン）	Improving Dockworker Safety and Welfare
ロサンゼルス港（米国）	AI Security Ops Cyber Resilience Center

4 IAPH（国際港湾協会：International Association of Ports and Harbors）とは

世界の港湾の発展と港湾関係者の交流を目指して 1955 年に設立された、世界の港湾管理者と港湾関係者が集まる唯一の国際 NGO です。国連機関である ILO, IMO, UNCTAD 等から非政府諮問機関として公式に認められ、国際的な課題について全世界の港湾を代表しています。



横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組



お問合せ先

横浜市港湾局政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長 中村 仁 Tel : 045-671-7279



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

